

紙本著色釈迦誕生図(和光寺) 1 幅

紙本著色釈迦誕生図

しほんちゃくしよくしゃかたんじょうず

分野／部門

有形文化財／美術工芸品[絵画]

所有者

宗教法人 和光寺(わこうじ)

所在地

大阪市西区北堀江 3

紹介



阿弥陀池で知られる和光寺は、江戸時代の大坂の名所のひとつであり、釈迦信仰が盛んである。

この画像は釈迦誕生を記念する灌仏会(かんぶつえ)の本尊で、釈迦誕生の説話を物語風に描き、阿弥陀池を模した蓮池も画面に配している。

文化 14 年(1817)に奉納されたもので、作者は大坂中寺町の画家小柴蘭溪(こしばらんけい)である。

独自性にあふれた構図による豊麗な彩色の作品で、躍動感にあふれる金色の釈迦が中央に描かれる。

軸裏には奉納時に結縁(けちえん)した願主を記す 114 枚の文書が貼られており、和光寺の信仰圏をうかがう歴史資料としても貴重である。

用語解説

灌仏会(かんぶつえ) 釈迦仏誕生を祝う仏教行事。現在は主に新暦の 4 月 8 日に行われる